

## お茶こそ、「国産」の「農薬不使用」 のお茶を選んでください！

ペットボトル入りの緑茶が人気ですが、大量生産されているそれらの茶葉は安全性に不安のある中国産だったり、防腐剤などの添加物が入っていることが多いのです。ペットボトルのお茶が不自然な緑色を保ち続けているのは、着色料を加えた上に酸化防止用に化学物質のビタミンCが添加されているためです。炭酸飲料でもないのに蓋を開けるとプシュと音が出るのは、さらに窒素を充填して酸化を防いでいるからです。ペットボトル茶が、いつまでも色が変わらないのはおかしいのです。

また、市販の茶葉は、農薬や化学肥料を使って栽培されているものがほとんどです。野菜は洗えばある程度農薬は落とせますが、お茶はまさしく残留農薬そのものを飲むこととなります。農薬が散布された茶葉は農薬が葉についたまま摘まれ、乾燥され、粉碎されます。しかもお茶はお湯で出します。農薬などの化学物質は、

温度が上がると吸収しやすくなるので、お湯でお茶の成分と一緒に出てきた農薬が、体の中に、吸収しやすい形で入り、農薬の成分が体に蓄積されることとなります。

毎日飲むお茶こそ、国産の農薬不使用のお茶を選ぶべきです。温かいお茶が恋しくなる季節、安全で、美味しい本物の緑茶を味わってください。

